

2015 滋賀びわこ総文を終えてのお礼

第39回全国高等学校総合文化祭「2015 滋賀びわこ総文」自然科学部門大会が、皆様のご協力のもと、成功裏に終了いたしました。

「翔びたとう 創造の翼で きらめく湖（うみ）から」という大会テーマのもと、「研究発表」、「ポスター（パネル）発表」、「生徒交流会」、「巡検研修」などたくさんの内容が3日間の大会日程の中で行われました。閉会式で、研究発表、ポスター（パネル）発表について表彰を行いました。表彰を受けられなかった学校も含めてすべての学校がこれまで積み重ねてきた成果をしっかりと発表されたと思います。これからは、今年の結果を基にしながら、全国の高校生がさらに研究を続け、来年の広島大会でまた新しい成果をぜひ発表してもらいたいと思います。

また、閉会式で生徒の皆さんにお願いをしましたが、ぜひこの大会に参加した高校生の皆さんがそれぞれの出身地に帰って、滋賀の地で見たこと、聞いたこと、学んだことを都道府県の報告会などを通して紹介していただきたいと思います。そしてそのことによって、自然科学を愛し、研究を進める高校生がさらに増えていくことを願っています。

自然科学部門大会は大成功のうちに終えることができましたが、この大会を成功のうちに終えることができた最大の功労者は、滋賀県の高校生の皆さんです。この大会に向けて1年生の時から研修を積み重ねてきた高校生がリーダーとなって、滋賀の地の自然を題材にしながら全国の高校生に向けて自然科学の研修を行ったことは、たいへんすばらしいことでした。また、暑い中を各会場の入り口で案内をしたり、大会運営を支えてくれた高校生の皆さん、本当にお疲れ様でした。様々な場所で青いTシャツの高校生の姿が見られました。滋賀県の高校生の皆さんが全国からやって来た高校生を温かく迎えてくれたことが、大会が成功した一番の原動力だと思っています。

最後になりましたが、この大会の開催に向けて準備を進めてこられました滋賀県実行委員会の皆様、特に、藤井校長先生、荒川先生をはじめとする滋賀県の役員の先生方、多大なご支援をいただいた地域の皆様、そしてこの自然科学部門の開催に尽力をいただきましたすべての皆様に改めて感謝を申し上げます。

来年は広島県で「2016 ひろしま総文」が開催されます。自然科学部門は、東広島市の広島大学を会場として開催されます。来年は、広島で皆様とお会いしましょう。

本当に皆様ありがとうございました。

平成27年8月5日

高等学校文化連盟全国自然科学専門部会長
島根県立大東高等学校校長
今 井 靖